

2022年度～2024年度 中期経営計画

宇宙に熱中！みんなが夢中！おんせん県おおいた

【概要】

1. 前期計画の成果と課題

成果

- ・当初、ラグビーワールドカップが開催され、国内外から多くの観戦客が来県し、その後に期待が高まったが、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大。
- ・コロナにより厳しい状態が続く中、動画による情報発信やWeb会議システムを活用した商談会やセールス等、新たな取組を進めた。

課題

- ・組織体制の充実、経営基盤の確立については、未だに不十分。
- ・昨年5月に使途不明金事案が発覚。コロナ禍で観光事業者が非常に厳しい状況にある中で、このような不祥事が起きたことは、会員及び関係者に対して大変申し訳なく、遺憾である。

外部調査委員会を設置し経緯を明らかにするとともに、公益社団法人としてふさわしい経理事務体制の確立と再発防止のため、指摘された問題点については順次改善した。

特に課題であった会計事務の一部を外部委託し、チェックできるよう改善。

改善した体制を維持するため、職員への引継ぎの徹底及びコンプライアンス研修等を継続する。

- ・各国の渡航制限等が緩和されつつあり、国内旅行も速やかな回復が見込まれることから、コロナ禍により見直されたマイクロツーリズムや自然志向の旅行スタイル、ワーケーションの普及等、ポストコロナ時代の「新しい旅のかたち」に対応した誘客を強化する必要がある。

2. 計画の概要

県が策定した第4期大分県ツーリズム戦略(2022-2024)に沿った事業を推進

事業戦略

- ① 多様な関係者との連携による事業企画・推進体制の強化
- ② 地域素材の磨き上げ
- ③ “おんせん県おおいた” の魅力向上と効果的な情報発信
- ④ ポストコロナ時代に向けた戦略的な誘客

- ⑤ おもてなし環境の整備
- ⑥ DMOとしての機能強化
- ⑦ 観光地の災害情報等の発信と新型コロナウイルス感染症対策の取組

地域素材の磨き上げ

- ・ 宇宙港を活用した観光ルートの開発等、新たな観光素材の発掘
- ・ カルチャーツーリズム、スポーツツーリズム、サイクルツーリズム、アドベンチャーツーリズム等、多様なツーリズムの推進
- ・ 「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」等、本県独特の温泉を活かした食と観光を楽しむ仕掛けづくり
- ・ 豊かな自然景観を活用し、自然と調和したアクティビティや旅行商品の開発等による魅力向上や、キャンプ分野等も含む情報発信
- ・ 大分の食を堪能できる宿や店舗の情報発信、県産品の磨き上げなどにより、長期滞在や周遊に結び付ける。

時代の流れを踏まえた国内誘客

- ・ 詳細なマーケティングによる情報発信や、主要都市圏域でのPR、MICEや教育旅行等の誘致
- ・ マイクロツーリズム需要の取り込みや隣接県へのきめ細やかな情報提供
- ・ 県内教育旅行ニーズへの対応
- ・ ワークেশョン誘致等、新たなビジネス需要の掘り起こし

完全復活に向けた海外誘客

- ・ 海外10市場(中国、香港、韓国、台湾、タイ、ベトナム、シンガポール・マレーシア、英国、豪州、ニュージーランド)の戦略パートナーと連携した取組
- ・ 入国規制解除、運航再開のタイミングにあわせたセールス、旅行会社等へのファムトリップ等を通じたツアー造成の働きかけ
- ・ 教育旅行の誘致、MICE誘致

環境整備・機能強化の取組

- ・ ブロック別等、広域での観光案内所人材の交流、Web会議システム等を用いた業務連携の推進
- ・ 観光客の移動の利便性を高める仕組み(MaaS、周遊チケット等)の検討
- ・ サポート型DMO組織として、マーケティング機能強化、戦略的県域・地域マネジメントの実施、プラットフォーム機能の充実による協働・サポート体制構築